

8. 11 祝 山の日制定

朝日庄内の風

第 20 号
平成28年 7月 1日 発行

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合 3

TEL : 0235-58-1730

FAX : 0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@maff.go.jp

Home Page: <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/>

jp/tohoku/syo/asahi/

朝日山地における天然生林への誘導について

6月14日(火)、朝日山地森林生態系保護地域における天然生林への誘導手法を模索するため設置した調査プロット(20m×20m×2箇所)内の林床植生調査を山形大学農学部、菊池准教授及び学生7名の協力を得て実施しました。

この調査は、間伐等により空いた林地に侵入した樹種の生長を把握するため、胸高直径4cm未満かつ樹高1.5m以上の全ての植生を調べ、番号を付けるという大変根気のいるもので、平成32年度までの5年間、毎年度実施します。

今回の調査は、今後5カ年間の基礎データという位置づけになることから、学生のみなさんは、生育旺盛な下草をかき分けて一本いっぽん根気強く調べていただきました。途中から雨が降り出し、全員びしょ濡れになりながらも最後まで丁寧に調査を実施していただきました。本当に感謝です。



菊池准教授から適宜指導

今後、2箇所のプロットにおいて、地元鶴岡市のあさひ小学校5年生による更新補助作業(下草刈り、つる切り)や、山取苗、実生苗の植栽を予定しており、経年のモニタリング調査で、どのような状況変化が現れるのか大変興味深いところです。



雨でびしょ濡れになりながら調査



なんちゃって空中写真(樹冠撮影)

みどりの保育園(クロマツ探検隊1)

5月12日(木)酒田市宮海の西荒瀬保育園に隣接する庄内海岸林(新林国有林)で、クロマツ探検隊Iを年長組園児26名、保育士4名、当センター2名、計32名で実施しました。

クロマツ探検隊Iの内容は、「出陣式」、「クロマツ林探検」、「クロマツ林に住む野鳥観察」、「万華鏡で遊ぼう」等を行い、出陣式では探検隊のルールを説明し、隊長の指示に従い車やウルシに注意することを確認して出発。クロマツ林探検では、クロマツの年齢調べ、畑の土がなぜ砂なのか、花の説明や名前の由来、マツクイ虫被害、野鳥観察(シラサギ等)等を行いました。

万華鏡で遊ぼうでは、森の宝物を探して集め各自思いおもいの草花を万華鏡に入れて楽しみました。

最後の振り返りでは、花の名前や、触っては行けないウルシを確認し、家に帰って家族に報告することとしました。



植物観察(ウラシマソウ)



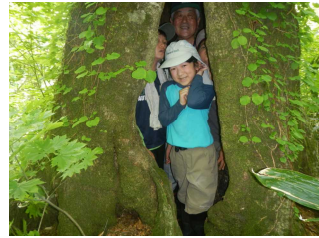
野鳥観察(シラサギ)

朝日自然塾 1 (マタギ文化とやまの幸 新緑のブナ林教室 (白布平))

当センターでは、朝日山地の森林や自然の働きを体感し自然とのつきあいかたを学ぶ体験活動型森林環境教育等を行うため、各団体の協力を得ながら「朝日自然塾」を開催しています。第1回目は開催地山形県小国町の共催により、5月22日(日)に置賜森林管理署管内で開催しました。開催場所は朝日連峰の南側登山口(針生平)から白布平までの約1.5kmの登山道を2時間かけて歩き、はじめに、吊り橋の歩き方、地図の見



吊り橋を渡る親子



ブナの空洞に入った子供たち

方や方位の確認方法を行ってから、登山道に入り山菜の見分け方、ブナ林の特徴や植物観察(小国の自然を守る会)、熊の習性や狩猟方法(山形県猟友会小国支部)、樹木の大きさ(置賜署)などについて説明を行いました。特に吊り橋は川からの高さがあり揺れることから、参加した小学生が渡れるか心配しましたが、前の人の足の運びと逆の足を出して揺れを防ぐ歩き方に注意して無事渡りきりました。また、途中にブナ(直径1m)の洞穴があり、こういう場所が熊の冬眠場所にあるとの説明に、参加者が交互に洞穴に入って確かめていました。

朝日連峰山開き

6月19日(日)に朝日連峰山開きに伴う安全祈願が鳥原小屋(標高1,335m 山形県大江町)で行われ、関係機関や一般登山者が集い今シーズンの安全を祈願しました。当日は、ぶな峠登山口からセンター職員3名で入山しました。この登山道は雪解け水で増水した川を何度か徒渉するルートですが、今年は残雪が少なく雪解けが早かったため徒渉する必要もなく登ることができました。朝日連峰の安全祈願が終わると、いよいよ本格的な山シーズンの到来です。今年も無事故・無災害を目指し、職員一同気を引き締めて業務に従事したいと思います。



安全祈願

朝日山地森林生態系保護地域 (管理委員会、巡視員会議)

【管理委員会】 5月24(火)、山形市の山形県自治会館において、朝日山地森林生態系保護地域管理委員会が開催されました。議事に先立ち、菊池座長(山形大学准教授)から「奥山で起こる課題、現象は下流の里山、里、そして沿岸地域まで影響が波及する。情報を共有し、保護に向け取り組んでいきましょう。」と挨拶がありました。

議事に入り審議事項では、ボランティア巡視員の巡視活動やモニタリング調査結果について説明。モニタリング調査について「漠然と結果を示すだけではなく、植生等の変化した原因及び評価を付け加えるべき」など、ご指摘いただきました。報告事項では、主に森林生態系保護地域内の人工林から天然林への誘導、平成27年度のニホンジカ影響調査について意見交換を行い、関係機関、団体等と情報を共有しながら、引き続き取り組んでいくことを確認しました。



管理委員会

【巡視員会議(春季)】 夏山シーズン前の6月11日(土)、鶴岡市の朝日中央コミュニティセンターで巡視員会議を開催しました。新たに登録された巡視員(2名)への委嘱状の交付の後、今年度の巡視活動方針等について意見交換を行い巡視員との合同パトロールの取組強化なども含め、引き続き朝日山地の保全・管理へのご協力をお願いしました。

編集後記

平成28年度が新体制でスタートし早いもので3ヶ月が過ぎました。今年は、国民の祝日(山の日)が施行されることから、各イベントも『山の日制定記念』として取り組んでいます。イベントの開催はなんと言っても人集めに苦労するところですが、今年のイベントは好評で応募者が多く、参加をお断りしているものもあります。参加者から来てよかったとの感想を糧に、朝日山地等の森林の保全と魅力発信に努めて参ります。